

対象国の条件 : 自然災害多発国

研修コース番号 : J1804289

案件番号 : 1884570

主分野課題 : 保健医療/その他保健医療

副分野課題 : 水資源・防災/その他水資源・防災

使用言語 : 英語

案件概要

災害により心身に大きなストレスやトラウマを受けた人々への心理社会的支援に関するアプローチの習得を通じて、各国に適した「こころのケア」モデルの確立を目指す。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】

日本の経験、知見をもとに災害マネジメントサイクルにおける保健医療及び精神保健の役割を理解し、災害における精神保健政策の立案に必要な能力を強化する。

【成果】

- 1) 国際課題としての災害における保健医療及び精神保健を理解する。
- 2) 日本の過去の事例（阪神・淡路大震災、東日本大震災など）を通じて、「こころのケア」概要、発展の背景を理解する。
- 3) 災害マネジメントサイクルにおける保健医療及び精神保健の日本の体制を理解する。
- 4) 社会的弱者（子供、高齢者等）に対する精神保健の重要性を理解する。
- 5) 災害精神保健に係るステークホルダーの役割、連携について理解する。
- 6) 災害における精神保健政策（「こころのケア」モデル）に関する考え方を整理し、アクションプランを作成する。

【対象組織】

中央省庁・地方行政機関で災害保健医療または精神保健政策を所管している部署、医療施設やコミュニティで被災者への心理社会的ケアサービスを提供している団体。

【対象人材】

中央省庁・地方行政機関で災害保健医療または精神保健政策の計画・実施を担当している行政官、医療施設やコミュニティで災害医療または心理社会的ケアサービスの提供に従事している者。当該分野において3年以上の実務経験。

内 容

1. カントリーレポート発表、討論
2. 精神保健に関する国際的な潮流及び介入手法、精神保健と他保健課題(感染症、非感染性疾病等)との関連
3. 防災と災害保健医療に係る国際的潮流、枠組みについて（仙台防災枠組、バンコク原則など）
4. 日本の精神保健福祉対策概観
5. 災害マネジメントサイクルの各フェーズ（予防期、応急対応期、復旧・復興期）における災害保健医療、災害精神保健の役割、体制について
6. 災害精神保健における各機関（行政や救援者（消防隊員、警察等）、救急医療施設、地域）の各役割と連携
7. 日本における災害時、復興時における社会での精神保健実践事例（行政による支援制度、医療施設での治療、地域での心理ケア等）
8. 災害に関連した精神保健、心理社会的ケアに従事する人材育成施策
9. 研修参加者の社会、文化、宗教、言語等を踏まえた「こころのケア」モデルの立案（ワークショップ）及び発表

本邦研修期間

2018/8/19～2018/9/1

担当課題部

人間開発部

所管国内機関

JICA関西（業務一）

関係省庁

実施年度

2018～2020

主要協力機関

調整中

**特記事項
及び
ホームページ**